

教科名	国語	単位数	2		担 当	
科目名	現代の国語	必修 選択	必修	選択	学 年	1 年
教科書 副教材等	精選現代の国語（東京書籍）、新総合図説国語（東京書籍） 常用漢字ダブルクリア四訂版					
選択対象者						
科目の 目 標	・ 漢字検定 3 級取得を目指す。 ・ 近代以降の評論文を読解する能力を身につける。 ・ 難解な文章を読み取り、自身の考えをまとめることができる。 ・ 自身の考えを根拠を基に話す、書くことができる。 ・ 話す、聞く、書くといったコミュニケーション能力を身につける。					
身に付けさせたい資質・能力（学校教育目標から）						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標		・ 近代以降の評論文の読解を学習する。 ・ テーマにしたがって自分の意見、調査内容を発表する。 ・ 自身の考えを他者と共有し、まとめる。 ・ 作文、感想文を書くとともに、スピーチ等を行う。				
2 授業の進め方		・ 表現分野においては作文等を書いたり、個別に発表を行ったりする。 ・ グループ活動を多用し、他者と意見を共有する、自身の意見を発信する場を多く設ける。 ・ 教え合いなどを通じて、教員主導ではなく生徒主導の授業形態で授業をすすめる。 ・ 地域の方々を講師として招聘する授業を行う。				
3 評価の規準		（１）【知識・理解】 ・ 社会生活に必要な難解語句の意味、漢字を理解し身につけている。 ・ 自身の考えを具体的且つ論理的に表現する力を身につけている。 ・ 筆者の主張や、各評論の主題を正確に読みとる力を身につけている。 （２）【思考・判断・表現】 ・ 筆者の主張、各評論の主題に対して自身の考えを確立することができている。 ・ 自身の考えを他者に伝えることができている。 ・ 他者の考えと自身の考えを比較することができている。 （３）【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 筆者の主張、各評論の主題を粘り強く詠みとろうとしている。 ・ 自身の取組を評価し、反省し、粘り強く改善しようとしている。				
4 評価の方法		・ 定期考査、単元小考査【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業への取組状況【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 言語活動への取組状況【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。				

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	話すこと・聞くこと：5 他己紹介スピーチをしよう (5)	・自身のことを理解してもらうためにはどのような情報が必要か取捨選択し、的確に相手に伝える。	・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理し、伝え合う内容を検討することができているか。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力
5	読むこと：7 評論の読み方 届く言葉 (7)	・基本的な評論の読み方を理解し、対比的に書かれている評論文を読み取る。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて要旨や要点を把握することができているか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 情報収集・発信力
6	書くこと：7 真の自立とは (7)	・筆者が述べていることを適切に読み取り、これからの実生活で何をしていくべきか考えをまとめる。	・筆者が主張している「自立」に関して理解を深め、自身がこれからしていかなくてはいけないこと、クラスとしてこれからしていかなくてはいけないことをまとめることができているか。	思考力・判断力・表現力 人間力 自己主張力
7				
8	読むこと：6 水の東西 (6)	・二項対立に注意し、そこから文章を読み解く手掛かりとし、理解を深める。	・鹿おどし、噴水の特色を簡潔にまとめ、日本と西洋の考え方の違いについて、理解を深めることができているか。 ・二項対立文とは何か理解し、自身における東西を書くことができているか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 情報収集・発信力
9	書くこと：7 新聞記事を基に問いを作り、意見をまとめる (7)	・新聞の構成を理解し、自身が興味関心のある事柄に関して意見をまとめることができているか。	・興味関心のある新聞記事に関して、あらゆる媒体から情報収集し、情報の信頼性や妥当性を吟味し、自身の意見をまとめることができているか。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力 自己主張力 忍耐力 行動力
10				
11	話すこと・聞くこと：8 コミュニティのこれから まちの豊かさとは何か。 (8)	・筆者が述べる主題を理解し、自身が住んでいるまちの豊かさを地域の方を招き、協議する。	・筆者の主張を踏まえて、自身が現在住んでいるまちの豊かさをまとめ、より自身が住んでいるまちを豊かにする方法を考えることができているか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 人間力 忍耐力
12	書くこと：8 論証してレポートを書く (8)	・レポートの形式を理解し、総合的な探究の時間の成果をレポートにまとめる。	・レポートの形式を理解し、具体的に実験記録をまとめることができているか。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力 人間力 忍耐力
1	読むこと：7 文章を読み比べるために 異なる主張を読み比べて自 分の意見を書く (6)	・あらゆる文章を読み比べ、共通点や相違点を発見し、それに基づいて自身の意見を書く。	・あらゆる文章を読み比べ、共通点や相違点、また情報の信頼性などを批判的に評価し、独自の意見を書くことができているか。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力
2	話すこと・聞くこと：7 白 (7)	・既習事項の評論の読み方を基に、評論文を読み取り、自身の考えを表現する。	・自身もしくは他者と協働し、本評論文の主題、根拠、主張をまとめることができているか。	協働力・思考力・判断力・表現力
3				
3	書くこと：8 今ここにある無数の未知 (8)	・既習事項の評論の読み方を基に、評論文を読み取り、自身の考えを表現する。	・自身もしくは他者と協働し、本評論文の主題、根拠、主張をまとめることができているか。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力 人間力 忍耐力

話すこと・聞くこと (20) + 書くこと (30) + 読むこと (20) = 時数合計 (70)

教科名	国語	単位数	2		担 当	
科目名	言語文化	必修 選択	必修	選択	学 年	1 年
教科書 副教材等	精選言語文化（東京書籍）、新総合図説国語（東京書籍） 新全訳古語辞典（大修館書店）					
選択対象者						
科目の 目 標	・現代仮名遣い、訓点、教科書内で出てくる助動詞の習得を目指す。 ・品詞分け、活用の種類・活用形を見極めることができる。 ・現代語訳したものを読み取り、自身の考えを根拠をもとに表現できる。 ・現代との共通点、相違点を見つけ、自身の考えを他者と共有し再考することができる。 ・物語文を詠み、登場人物の心情などを豊かに想像する力を身につける。					
身に付けさせたい資質・能力（学校教育目標から）						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標						
（現代文領域） ・明治期以降の小説、短歌、俳句、詩の読解を学習する。 ・テーマにしたがって、随筆や詩の創作を行う。 （古典領域） ・古文、漢文の文法事項について学習する。 ・古文、漢文の読解を行う。 ・作品に関連した歴史的背景、文学史を学習する。						
2 授業の進め方						
・古典における読解・文法事項分野においては講義形式で授業をすすめる。 ・近代以降の文章に関しては、教え合いを推奨し教員主導ではなく生徒主導で授業をすすめる。						
3. 評価の基準						
（１）【知識・技能】 ・社会生活に必要な難解語句の意味、漢字を理解し、身につけている。 ・古典を読み解くための文法等を理解できている。 （２）【思考・判断・表現】 ・作品の主題や筆者の主張に対して自身の考えをもつことができている。 ・自身の考えを他者へ伝えることができている。 （３）【主体的に学習に取り組む態度】 ・基本的な文法を理解し、粘り強く古文・漢文を読み解こうとしている。 ・本文中の場面設定を押さえ、粘り強く登場人物の心情、筆者の主張を読みとろうとしている。 ・自身の取組を、評価し、反省し、粘り強く改善しようとしている。						
4 評価の方法						
・定期考査、単元小考査【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取組状況【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・言語活動（議論、創作など）に対する取組状況【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の取組に関する自己評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 これらを総合して、三観点を同等に扱い、評価を行う。						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	書くこと：8 文語定型詩から口語自由詩へ（1） 一つのメルヘン、I was born、あいだ（7）	・現代詩の形態について理解する。 ・詩特有の表現技法に着目し取り入れ、自身の思いを詩で表現する。	・現代詩の形態を理解することができているか。 ・表現技法などを工夫した詩を創作することができているか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 忍耐力
5	読むこと（近代以降の文章）：5 耳覚めの季節（5）	・文章を正しく読み取り、言葉の成り立ちについて理解する。	・論の展開を整理し、筆者の思いを読みとることができているか。 ・自身の体験を効果的に随筆で表現することができているか。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力 忍耐力 自己主張力
6	読むこと（古典）：7 古文の言葉と仮名遣い（2） 児のそら寝（5）	・歴史的、現代仮名遣いとは何か理解し、古文に親しむ。	・現代仮名遣いを駆使し、文章を読み取り、各登場人物の心情を理解することができているか。 ・この作品の面白さはどこにあるか発見することができているか。	思考力・判断力・表現力 忍耐力
7	読むこと（古典）：5 古語を調べるために（1） 用光と白波（4）	・単語の分類を学び、動詞の活用形についても理解を深める。 ・古語辞典の活用の仕方理解する。 ・本作品で出てくる動詞の活用形なども確認しながら読み取る。	・文中の動詞の活用形を判別することができているか。 ・どのような作品なのか、作品の面白さに気づくことができているか。 ・難解単語意味は、古語辞典を活用しながら調べることが出来ているか。	思考力・判断力・表現力 忍耐力
8	読むこと（古典）：6 絵仏師良秀（6）	・助動詞にはどのような働きがあるか理解する。 ・文中で出てくる助動詞について用法を理解する。 ・絵仏師良秀の生き方について話し合う。	・文中における助動詞の判別ができているか。またその助動詞はどのような用法があるか理解しているか。 ・絵仏師良秀の生き方について話し合い自身の意見をまとめることができているか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 忍耐力
9	読むこと（近代以降の文章）：10 羅生門（10）	・登場人物の心情を中心に読み取る。 ・原作と比較して、争点を見つけ言葉がもつ働きについて理解する。	・原作と読み比べ、言葉にはどのような働き・効果があるか理解することができているか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 情報収集・発信力 忍耐力 人間力
10	読むこと（古典）：8 訓読の基本（4） 故事成語 三編（4）	・訓点の用法を理解し、正しく読む。書き下す。	・訓点の用法を理解し、正しく書き下すことができているか。 ・訓点の用法を理解し、正しく読むことができているか。	思考力・判断力・表現力 忍耐力
10	読むこと（古典）：6 寓話 借虎威 朝三暮四（6）	・寓話とは何か理解し、今でも残る故事成語の成り立ちを理解する。	・既習の訓点の用法を活用し、書き下すことができているか。 ・虎の威を借るの意味を現代語訳から理解し、現代社会にあてはめるとどのような人達が該当するか、理由と併せて答えることができているか。	思考力・判断力・表現力 忍耐力
11	読むこと（古典）：5 徒然草（5） 「ある人弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」	・本文を読み取り、現代との共通点を見つけ、人間の考え方や価値観に関して考えを深める。	・本文を読み取り、実生活に当てはめて考えることができているか。	思考力・判断力・表現力 忍耐力
11	読むこと（古典）：5 漢詩の形式と決まり（1） 絶句と律詩（4）	・漢詩の形態を理解する。 ・漢詩を現代語訳し、昔の人々の感性を味わう。	・漢詩の形態、押韻を理解することができているか。 ・どのような心情でその漢詩を書いたのか深く考えることができているか。	思考力・判断力・表現力 忍耐力
12	読むこと（近代以降の文章）：5 鏡（5）	・独特な語り口で書かれた小説を読み取る。 ・本小説を読み取り、字学年における自分自身の目標を立てる。	・独特な語り口で書かれている小説を読み取るができているか。 ・読み取ったことを基に、自分の目標を立てることができているか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 情報収集・発信力
1				
2				
3				

書くこと（8）＋読むこと（古典：42）＋読むこと（近代以降の文章：20）＝時数合計（70）

教科名	国語	単位数	2		担 当	
科目名	論理国語	必修 選択	必修	選択	学 年	2 年
教科書 副教材等	論理国語（大修館書店）、図説国語（東京書籍）、パスワード級別漢字（浜島書店）、 論理国語学習ノート（大修館書店）					
選択対象者	（対象生徒）					
科目の 目 標	・ 論理的な文章を読み、筆者の考えや文の要旨・展開を正確に捉える力を培う。 ・ 批判的な思考を持ち、主題に対して自身の考えを論理的に表現する力を培う。 ・ 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。					
身に付けさせたい資質・能力（学校教育目標から）						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標		・ 各評論文の主題、主張、根拠を読み解く。 ・ 筆者の主張、評論の主題に対して自身の考えを明確にし、他者と共有する。 ・ 論の展開を理解し、レポートや小論文などの創作活動を行う。				
2 授業の進め方		・ 自身もしくは他者と協働し、評論文を読み解く。 ・ 筆者の主張、評論の主題に対して、自己の論を持つ。 ・ 論の展開を整理し、自己の論を表現する。 ・ 自己の論を他者と共有し、更に自己の論を深める。				
3 評価の規準		【知識・技能】 ・ 表現と理解に役立つ文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。 ・ 自身の考えを他者に伝えるための論理構成を理解している。 ・ 評論文の主題、主題に対する筆者の主張を正確に読みとることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 評論文の主題、筆者の主張に対して自身の考えをもつことができている。 ・ 自身の考えを論理的に他者に伝えることができる。 ・ 他者の考えを聞き、自身の考えを広げ、深めることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して粘り強く他者や社会に関わろうとしている。 ・ 本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読みとろうとしている。 ・ 自身の取組を、評価・反省し、改善しようとしている。				
4 評価の方法		・ 定期考査、単元考査 【知識技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業への取組状況【知識技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 言語活動（議論・創作等）に対する取組状況【知識技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 これらを総合して三観点を同等に扱い評価を行う。				

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	評論文の読み方 (4)	評論文の内容整理の方法を理解する。 自身の主張の表現方法を理解する。	短文、長文からなる複数の評論文を読み、内容整理の方法に沿ってまとめることができるか。	思考力・判断力・表現力 忍耐力
4 ・ 5	世界を広げる「批評」の言葉 (8)	筆者が定義することを的確に押さえ、主張を理解する。 「批評」の意味を理解し、問いを設定し自身の考えを表現する。	既習の評論文の読み方に従い、本評論の主題・主張・根拠をまとめることができるか。 「批評」の意味を理解し、問いを設定し自身の考えを表現することができるか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 人間力
6	人工知能の可能性と罫(4) 対話の精神(6)	人工知能の明と暗を理解し、人工知能の未来に関して自身の考えを確立する。 日本の文化の特徴を踏まえ、「対話」についての理解を深める。 「対話」を通して、自身の考えを広げ深める。	日本人にとって「対話」が難しいという主張は真実なのか、批判的な思考を持ち自身の考えを表現することができるか。 他者との「対話」を通し、「対話」の意義を理解することができるか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 情報収集・発信力 人間力 行動力
7 ・ 8	ミロのヴィーナス 余白の美学 具体的／抽象的に書く(6)	同じ題材について論じている二つの評論文の相違点と共通点を見つける。 論の展開を踏まえ、自身の考えを論理的に書く。	二つの評論文を比較し検討し相違点と共通点を見つけることができるか。 「具体的／抽象的に書く」の内容を踏まえ、自身の考えを論理的に表現することができるか。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力
9	少女たちの「ひろしま」 (8) ※現代の国語(東京書籍)掲載	具体例を基に筆者の思いを読みとる。 戦争について書かれた随想を読み、自身の生き方を見つめ直す。	具体例を基に筆者の主張を読みとり、まとめることができるか。 世界唯一の被爆国日本の平和に関して自身の思いを書くことができるか。	思考力・判断力・表現力 人間力 行動力
9 ・ 1 0	家族化するペット (8)	様々な事柄を批判的に捉える力を身につける。	既習の評論文の読み方に従い、本評論の主題・主張・根拠をまとめることができるか。 独自の視点で問題が潜在化している事柄を見つけることができるか。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力 自己主張力 忍耐力
1 0 ・ 1 1	方言コスプレ現象 情報を集めて分類する。 (8)	筆者の方言に対する分析の仕方、分析を経ての筆者の主張を的確にとらえる。 変容する方言の効果を調査し、探究する。	筆者が分析している方言の効果、変容を的確に捉えることができるか。 共通語と方言の使い分けを調査し、方言がもつ効果に対して自身の考えをまとめることができるか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 情報収集・発信力 行動力
1 2 ・ 1 1	絵を見る技術 図版を分析して書く (8)	エピソードや具体例の役割に注目し、本文と図版を関係づけながら読みとる。 図版資料から情報を抽出し、考えたことをまとめる。	絵を見る方法を的確に読みとり、他者も理解できる「読み取り手順書」を作成することができるか。 自身が作成した「読み取り手順書」を基に図版資料から情報を抽出し、考えたことをまとめることができるか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 人間力
2 ・ 3	「である」ことと「する」こと (10)	対比的な概念や具体例の意図をとらえ、筆者の主張を掴む。 与えられたテーマに対して自身の考えを表現することができる。	対比・具体例の構図を掴み、まとめることができるか。 与えられたテーマに対して考え、自身の考えを書くことができるか。	思考力・判断力・表現力 人間力 行動力 忍耐力

時数合計(70)

教科名	国語	単位数	2		担 当	
科目名	文学国語	必修 選択	必修	選択	学 年	2 年
教科書 副教材等	文学国語（大修館書店）、文学国語学習ノート（大修館書店）、図説国語（東京書籍）					
選択対象者	（対象生徒）					
科目の 目 標	・ 文学的な文章を読み、人物像・表現技法について考察を深める。 ・ 文学的な文章を読み、自分の考えを効果的に表現する方法を培う。 ・ 文学的な文章を読み、登場人物の心情をとらえる力を養う。					
身に付けさせたい資質・能力（学校教育目標から）						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標						
・ 登場人物の心情、筆者の思いを読み解く。 ・ 登場人物の心情・筆者の主張に関して、自身の考えを根拠と併せて持つ。 ・ 自身の考えを他者と共有し、共通点・相違点を探る。 ・ 自身の思いを詩や随想で表現する。						
2 授業の進め方						
・ 登場人物の心情、筆者の思いを自身または他者と協働しまとめる。 ・ 自身の考えを根拠と併せて確立する。 ・ 自身の考えを他者と共有し、共通点・相違点を見つけ、自身の考えをより深める。						
3 評価の規準						
【知識・技能】 ・ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句、表現技法、漢字等を理解し身につけている。 ・ 文学的な文章を読むことをとおして、我が国言語文化についての知識を身につけている。 ・ 登場人物の心情、心情の変化を根拠と併せて正確に読みとることができる。 ・ 筆者の主張を根拠と併せて適切に読みとることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 登場人物の心情、筆者の主張に対して自身の考えを持つことができる。 ・ 自身の考えを論理的に他者に表現することができる。 ・ 他者の考えを聞き、自身の考えを広げ、深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く登場人物の心情、筆者の主張を粘り強く読みとろうとしている。 ・ 自身の取組を、評価・反省し、改善しようとしている。						
4 評価の方法						
・ 定期考査、単元考査 【知識技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業への取組状況【知識技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 言語活動（議論、創作等）に対する取組状況【知識技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 これらを総合して評価を行う。						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
	十八歳の選択 体験に基づいて書く。 (7)	創造したり共感したりしながら、筆者の思いを読みとる。 自身が体験したことを基に随筆を書く。	筆者の思いを論の展開に沿って、読みとることができるか。 筆者の思いを基に自身の考えを持つことができるか。 自身が体験したことを言葉や表現を工夫し表現することができるか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 行動力
	山月記(9)	情景描写や時間の推移を基に登場人物の心情や情景を理解する。 登場人物の生き方に関して批評文を書く。	情景描写や登場人物の境遇から心情を理解し、まとめることができるか。 登場人物の生き方に関して確かな根拠を基に批評することができるか。	思考力・判断力・表現力 人間力
	山椒魚 (9)	本作品に込められた寓意を理解する。 寓意を基に自身の生き方を見つめ直す。	物語の展開、各登場人物の心情の推移を整理し、本作品の寓意とは何か自身の考えをもつことができるか。 寓意を踏まえて、自身の生き方を見つめ直すことができるか。	思考力・判断力・表現力 人間力
	竹・小景異情・永訣の朝・心情を描写する(9)	韻文の表現や効果について理解を深める。 詩、短歌、俳句の形式を理解する。 各作品の優れた文章表現を読み味わう。 自身の心情を伝えるために言葉を選び、表現を工夫する。	韻文の表現や効果について理解することができるか。 詩、短歌、俳句の形式を理解することができるか。 自身の心情を効果的に表現することができるか。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力 人間力 忍耐力 行動力
	鹿を追いかけて情景を描写する(7)	情景描写に着目し、自然と人間の関係がどのように表されているかをとらえる。 情景を伝えるために表現を工夫する。	情景描写に着目し、筆者の思いを読みとることができるか。 巧みな情景描写とは何か理解し、表現することができるか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 情報収集・発信力
	こころ(14)	人物関係を整理し、各人物の心情を理解する。 本作品をなぜ全国の高校生が学ぶのか、探究する。	優れた情景描写、各登場人物の境遇・心情を整理し、まとめることができるか。 作者が本作品に込めた思いについて、自身の考えをもつことができるか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 人間力 忍耐力
	美神(9)	舞台設定や時代背景を踏まえて本作品の主題を理解する。 人物描写や表現効果に着目し、本作品の展開を読みとる。	本作品の主題は何であるか、本文に即した自身の考えを持つことができるか。	思考力・判断力・表現力 忍耐力 人間力
	私の日本居住論(6)	幅広い視点で日本の言語文化の特徴を捉える。	我が国の言語文化の特質について理解を深めているか。 作者のものの見方とおして、日本の文化の特徴について自身の考えをもつ。	思考力・判断力・表現力 情報収集・発信力 人間力 忍耐力

時数合計(70)

教科名	国語	単位数	2		担 当	
科目名	論理国語	必修 選択	必修	選択	学 年	3 年
教科書 副教材等	論理国語（大修館書店）、図説国語（東京書籍）、常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） 論理国語学習ノート（大修館書店）					
選択対象者						
科目の 目 標	・ 論理的な文章を読み、筆者の考えや文の要旨・展開を正確に捉える力を培う。 ・ 多角的な思考をもち、主題に対する自身の考えを論証できる力を培う。 ・ 自身の考えを創造し、論理的に伝える力を培う。					
身に付けさせたい資質・能力						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標		・ 各評論文の主題、主張、根拠を読み解く。 ・ 筆者の主張、評論文の主題に対して自身の考えを明確にし、他者と共有する。 ・ 論理的思考力をもとに自身の考えをレポートや ICT 機器を活用し、表現する。				
2 授業の進め方		・ 自身もしくは他者と協働し、評論文を読み解き、評論の主題と筆者の主張を捉える。 ・ 筆者の主張、評論の主題に対して、自身の考えを形成する。 ・ 論理的に自身の考えを他者へ表現する。 ・ 自身の考えと他者の考えの共通点・相違点を整理する。 ・ 自身の考えを再考し、表現する。				
3 評価の規準		【知識・技能】 ・ 実社会に必要な文法、表記、語句、漢字などを理解し、身につけている。 ・ 自身の考えを他者に論理的かつ具体的に伝えるための論理構成を理解している。 ・ 評論文の主題に対する筆者の主張を読みとることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 評論文の主題、筆者の主張に対して自身の考えを形成することができる。 ・ 自身の考えを論理的かつ具体的に他者に伝えることができる。 ・ 他者の考えを聞き、自身の考えを広げ、深めることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して粘り強く他者や社会に関わろうとしている。 ・ 粘り強く筆者の主張、論の要旨を読みとろうとしている。 ・ 自身の取組を振り返り、評価・反省し、改善しようとしている。				
4 評価の方法		・ 漢字テスト【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 定期考査・単元小テスト【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業への取組状況【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 言語活動（議論、小論文、レポート等）への取組【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自身の学習に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 これらを総合して三観点を同等に扱い評価を行う。				

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	「贈り物」としての ノブレス・オブリー ジュ（４） 相手を意識して書く （３）	「贈り物」についての筆者 の主張を踏まえて、自己と 他者について考える。 異なる読み手に対して本作 品の紹介ポップを考え、豊 かな表現力を養う。	論理の展開などを的確にとらえ、論 点を明確にしながらか要旨を把握して いるか。 相手に応じた適切な表現について考 え、積極的に紹介ポップを作成しよ うとしているか	思考力・判断 力・表現力 情報収集・発信 力 人間力 忍耐力
5	ネットワーク上のコ ミュニケーション （５） 対比して論じる。 （４）	対比的な論じ方や具体例の 意図を捉える。 対面とネットワーク上での コミュニケーションの差異 について考える。 学習したことをもとに、社 会的事柄に関して、対比を 用いて自身の考えを表現す る。	主張を支える根拠や結論を導く論拠 を批判的に検し、文章や資料の妥当 性を吟味することができているか。 多面的・多角的な視点から自身の考 えを深め、対比を効果的に用いて、 積極的に文章を書いているか。	情報収集・発信 力 自己主張力
6	ポスト真実時代のジ ャーナリズムの役割 （７）	メディアの現状と課題、マ スメディアの役割について 考える。 情報を発信する側、受け取 る側にはそれぞれどのよう なことが必要か、「情報管 理啓発ポスター」を作成す る。	文章の内容や解釈を多様な論点や異 なる価値観と結びつけて、新たな観 点から自身の考えを深めることがで きているか。 実際の社会状況を意識して、他者の 考えを聞き、自身の考えを広げ、深 めることができているか。	情報収集・発信 力 思考力・判断 力・表現力 自己主張力
6 ・ 7	消費されるスポーツ （６） 仮説を立てて検証す る（４）	スポーツとメディアの関係 についての考えを深める。 学習したことは他分野でも 通じるのか考え、多面的・ 多角的な視点で自身の考え を表現する。	人間、社会、自然などについて、文 章の内容や解釈を多様な論点や異な る価値観と結びつけて、新たな観点 から自分の考えを深めることができ ているか。 主張と根拠の関係を吟味しつつ、積 極的に自身が立てた仮説を検証しよ うとしているか。	思考力・判断 力・表現力 情報収集・発信 力 忍耐力
7 ・ 8	人を指す言葉（６） 情報を集めて分類す る（４）	日本語の特徴について考 え、言葉に対する理解を深 める。 日本語の特徴を独自に見つ け出し、なぜそのような特 徴があるか探究する。	主張を支える根拠や論拠を的確に捉 えることができているか。 日本語の特徴を独自に見つけ出し、 なぜそのような特徴があるか、積極 的に探究し、表現することができて いるか。	情報収集・発信 力 忍耐力
9	多数決を疑う（６） テーマの具体化・焦 点化（４）	筆者が指摘する問題点や代 替案を読み取り、主張を理 解する。 社会制度の在り方に興味を もち、新しい「新長万部高 校決選投票制度」を作成す る。	人間、社会、自然などについて、文 章の内容や解釈を多様な論点や異な る価値観と結びつけて、新たな観点 から自分の考えを深めることができ ているか。 多面的・多角的な視点から学習課題 を捉え、自身の考えを論理的に表現 することができているか。	思考力・判断 力・表現力 人間力 行動力
1 0 ・ 1 1	日常に走る亀裂 （９）	筆者の身体観を的確に読み 取り、身体や自己認識につ いて理解を深める。 自身をとりまく環境を捉え 直し、「〇年後の私」に関 して自身の考えを表現す る。	文章の種類を踏まえて、内容や構 成、論理の展開などを的確に捉え、 論点を明確にしながらか要旨を把握 しているか。 自身の取り巻く環境を捉え直し、自 身が将来どのような人物でありたい か考え、他者に効果的に表現できて いるか。	行動力 思考録・判断 力・表現力 自己主張力 人間力
1 1 ・ 1 2 ・ 1 1	地球システムの中の 人間（８）	地球環境問題と文化や社会 との関係について理解を深 める。 学習したことをもとに、長 万部町の自然環境を保持す るためにどのようなことが 必要か考える。	人間、社会、自然などについて、文 章の内容や解釈を多様な論点や異な る価値観と結びつけて、新たな観点 から自分の考えを深めることができ ているか。 長万部町の自然環境を保持するた めにどのようなことが必要か考え、表 現することができているか。	思考力・判断 力・表現力 情報収集・発信 力 行動力

時数合計（７０）

教科名	国語	単位数	2		担 当	
科目名	文学国語	必修 選択	必修	選択	学 年	3 年
教科書 副教材等	文学国語（大修館書店）、文学国語学習ノート（大修館書店）、図説国語（東京書籍）					
選択対象者						
科目の 目 標	・ 文学的な文章を読み、社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。 ・ 文学的な文章を読み、登場人物の心情などを豊かに想像する力を身につける。 ・ 文学的な文章を読み、他者との多様な関わりの中で、伝え合う力を高め、自身の考えを深化させる力、姿勢を身につける。					
身に付けさせたい資質・能力						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標		・ 作品が書かれた背景、作者について理解することができる。 ・ 登場人物の心情、話の展開、筆者の思いを正確に読み解くことができる。 ・ 自身の考えをもち、他者と共有することができる。 ・ 自身の考えと他者の共通点・相違点を見つけ、自身の考えを深化させることができる。				
2 授業の進め方		・ 作品が書かれた背景や作者について理解を深める。 ・ 登場人物の心情、話の展開、筆者の思いを読み解く。 ・ 登場人物の心情、話の展開、筆者の思いに関して、自身の考えを根拠併せて持つ。 ・ 自身の考えを他者と共有し、共通点や相違点を探り、自身の考えを深化させる。 ・ 自身の考えを効果的に表現する。				
3 評価の規準		【知識・技能】 ・ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句、表現技法を理解し身につけている。 ・ 社会生活に必要な難解語句の意味、漢字を理解し身につけている。 ・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化についての知識を身につけている。 ・ 登場人物の心情、心情の変化を根拠と併せて、正確に読みとることができている。 【思考・判断・表現】 ・ 登場人物の心情、筆者の主張に対して、自身の考えを根拠と併せてもつことができている。 ・ 自身の考えを他者に効果的且つ具体的に伝えることができている。 ・ 自身の考えと他者の考えの共通点・相違点を見つけ、自身の考えを深化することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く登場人物の心情、筆者の主張を読みとろうとしている。 ・ 自身の取組を、評価し、反省し、粘り強く改善しようとしている。				
4 評価の方法		・ 定期考査、単元小考査【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業への取組状況【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 言語活動（議論、創作など）に対する取組状況【知識・技能、思考判断表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自身の取組に対する自己評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 これらを総合して三観点を同等に扱い評価を行う。				

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
	桜の中で時が重なり合う (5)	自然と人間との関係における言語表現の魅力を味わう。 多様な捉え方がなされる自然の産物に着目し、なぜ多様な捉え方がなされるのか、発見する。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉えているか。 自然の描写をはじめとする表現の特徴に着目し、自身の考えを効果的に表現することができているか。	思考力・判断力・表現力、情報収集・発信力
	鍋セット (9)	文体の特徴とその効果について理解を深める。 自身と主人公の状況を照らし合わせ、内容・心情を的確に読みとる。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈することができているか。 本作品の文体の特徴と効果を理解することができているか。	思考力・判断力・表現力 自己主張力 忍耐力
	桔梗くんへ (4) 手紙を書く (3)	作品を通して、日常的な出来事や体験の意味を振り返る。 手紙の書き方を理解し、自身の～年後に手紙を書く。	言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解しているか。 手紙の体裁をふまえ、読み手のことを想像しながら、文章を書こうとしているか。	思考力・判断力、表現力 情報収集・発信力 人間力
	掟の門 (6)	表現の特徴をとらえ、その効果や意味について考える。 寓意による表現方法の批評性について理解を深める。 本作品に潜んでいる寓意を理解する。	文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。 寓意を理解し、自身の生活に反映させようとしているか。	思考力・判断力、表現力 人間力
	陰影礼賛・闇と光 (7)	言語表現による自然や文化のとらえ方に着目する。 日本の伝統的な価値観やその変化について考えを深める。	文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができているか。 筆者の表現をふまえ、伝統的な価値観やその変化について考えを深めようとしているか。	思考力・判断力、表現力 自己主張力 忍耐力
	檸檬 (8)	筆者に関する事や文化的背景を踏まえて、正確に内容を読みとる。 場面設定を捉え、その後の私について創作する。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈しているか。 登場人物のものの見方や語りの特徴を踏まえ、その後の私の心情を考えることができているか。	思考力・判断力、表現力 自己主張力
	待つ (8) ショートストーリーを書く (3)	語りの特徴に着目し、その効果について考える。 学習した語り手の視点や効果的な表現技法をもとに、長万部高校ショートストーリーを考える。	作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方を深めることができているか。 これまで学んできた表現等を活用し、読み手を意識して文章を書こうとしているか。	思考力・判断力、表現力 情報収集・発信力 自己主張力 人間力
	舞姫 (17)	時代背景や舞台設定の意味について考える。 登場人物の境遇と心情の関係を捉える。 主人公の行動に関して、ミニディベートを行う。	情景の豊かさや心情の機微を表す語句を理解することができているか。 時代背景や舞台設定を理解し、正確に内容を掴むことができているか。 主人公の行動に対して自身の意見を確立し、効果的に表現することができているか。	思考力・判断力、表現力 自己主張力 人間力 忍耐力